
ロックタイト 建築用配管シール剤 施工方法
(5651、565、567、575、572、592)

2020年11月18日
技術サービスグループ作成

ヘンケルジャパン株式会社

目 次

1、製品概要	— — — — —	P. 3
2、開封方法	— — — — —	P. 3
3、配管の洗浄	— — — — —	P. 3
4、塗布方法及び組付け	— — — — —	P. 3～5
1) 25A 以下の配管の組付け		
2) 32A 以上の配管の組付け		
3) ステンレス配管及び65A 以上の配管の組付け		
4) 10℃以下の配管施工の場合		
5) アクチベーターSF 7649 使用時の注意事項		
6) 位置調整及び増し締めについて		
5、取り外し方法	— — — — —	P. 5
6、用途	— — — — —	P. 5
7、適用管材	— — — — —	P. 5
8、漏れ確認試験	— — — — —	P. 6
9、シール性・耐熱性データ (参考値)	— — — — —	P. 6
10、適合規格	— — — — —	P. 6
11、保存方法	— — — — —	P. 7
12、注意	— — — — —	P. 7

1、製品概要

ロックタイト 5651 や 575 などの建築用配管シール剤は、1液で硬化する多目的金属配管テーパードネジシール剤です。金属間の隙間にシール剤が充填され、酸素を遮断することにより硬化します。はみ出したシール剤は硬化しませんので、ウエスなどで拭き取る事により、見た目もきれいに施工でき、施工現場を汚すことはありません。本製品はテフロン®を含有していますので、締め付け時のカジリを防止し、且つ潤滑性を発揮します。また、無溶剤タイプですので、溶剤揮発による肉やせ現象が無く、優れたシール性が得られます。

注)テフロン®は E.I.Dupont 社の商標です。

2、開封方法

(ロックタイト5651、565、572、575)

ロックタイト建築用配管シール剤はキャップを取りますとノズル先端に2箇所のかびれがあります。施工する配管の径により、切断方法が異なります。25A以下の場合は、初めのかびれ(細い方)を、32A以上の配管の場合については、2番目(太い方)のかびれを切断して下さい。

(ロックタイト592)

ノズル付きキャップを外し、チューブの先端をカットします。再度、ノズル付きキャップを取り付けます。その後、ノズル部分をねじゆるみ方向に約半周回すことにより、塗布可能となります。

また、ノズル部分をねじ締め付け方向に回転させることにより、閉栓となります。

注) 開封したままでも先端及びシール剤が硬化することはありませんが、不純物の混入を防止するために、使用後は確実にキャップを閉めて下さい。

3、配管の洗浄

パイプ切断後、切断部の内外の切削油をウエス等にて良く拭き取って下さい。

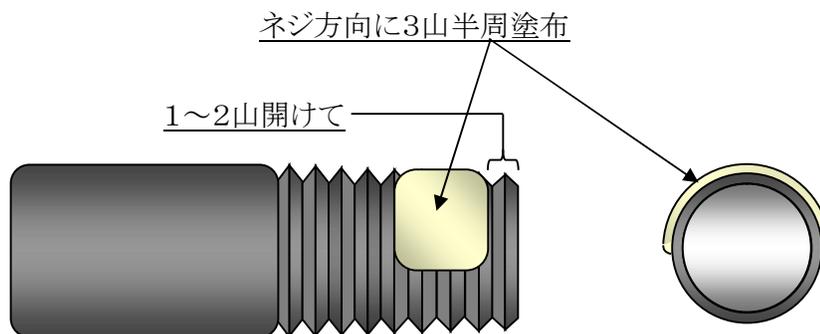
水で洗浄している場合についても同様に水滴をウエス等にて良く拭き取って下さい。

4、塗布方法及び組み付け

1) 25A以下の配管の組み付け

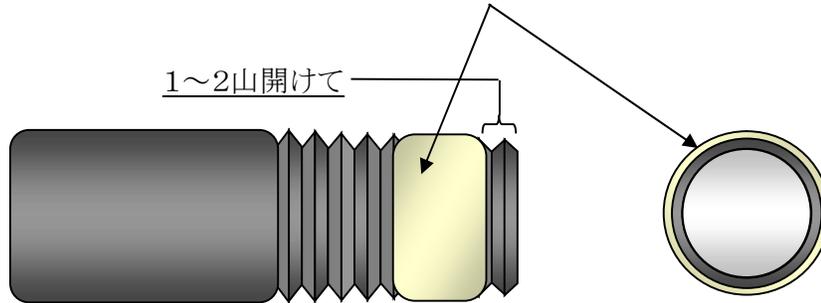
ロックタイト配管シール剤をネジ山1～2山あけてネジ方向に3山半周塗布して下さい。

組み付け後はしっかりとパイプレンチにて締め付けて下さい。(標準締め付けトルクにて)



2) 32A以上の配管の組み付け

ロックタイト配管シーラント剤をネジ山1～2山あけてネジ方向に3山全周塗布して下さい。
組み付け後はしっかりとパイプレンチにて締め付けて下さい。(標準締め付けトルクにて)

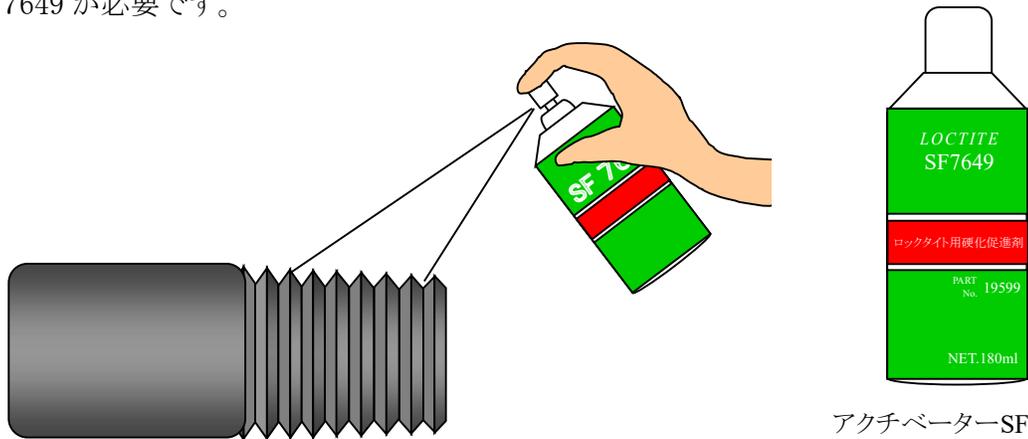


3) ステンレス配管及び65A以上の配管の締め付け

ステンレス配管につきましては、口径にかかわらず、アクチベーターSF 7649 をネジ部全周に塗布し乾燥させて下さい。

また、65A以上の大口径にもアクチベーターSF 7649 を使用して下さい。

上記以外でも温度が10℃以下の場合、特に硬化を速めたい場合にもアクチベーターSF 7649 が必要です。



アクチベーターSF 7649

180ml

(洗浄・硬化促進剤)

4) 10℃以下の配管施工の場合

施工雰囲気温度又は配管物温が 10℃以下の場合、使用する金属配管材質及びサイズに係わらずアクチベーターSF 7649 が必要です。

5) アクチベーターSF 7649 使用時の注意点

- ① アクチベーターSF 7649 を塗布処理した配管ネジ部に対しては、極めて硬化速度が速くなる為、シーリング剤を塗布直後に組付け及び締め付け作業を行って下さい。
- ② アクチベーターSF 7649 を使用した場合には、極めて硬化速度が速くなる為、組み付け時の 仮締め、組み付け後の位置調整及び増し締めは出来ません。

注) ロックタイト建築用配管シーリング剤は、ネジ接合部は完全に硬化しますが、はみ出した部分は硬化しませんので、可能であれば、はみ出したシーリング剤はウエス等で拭きとって下さい。

本製品は、テーパネジシール用であり、平行ネジシールに使用する場合は、事前に性能を満足するかどうかを確認後、適用して下さい。

6) 位置調整及び増し締めについて

位置調整が必要な場合は、締め付け直後に行ってください。組み付け時の仮締め(軽い手締めレベル)を行なう場合は、5分以内(室温の場合)に本締め付けを行なって下さい。時間経過と共にシーリング剤は硬化します。後からの位置調整及び増し締めは出来ません。また、配管材が銅合金系又はアクチベーター SF 7649 使用の場合は、位置調整や仮締め及び増し締めは出来ません。

5、取り外し方法

完全に硬化後、25A 以下の配管については、パイプレンチにて取り外しが可能ですが、それ以上の配管サイズになりますと、取り外しが困難な場合があります。

困難な場合は、バーナーなどにて熱し、熱いうちに取り外して下さい。取り外し後、ワイヤブラシにて接着剤を除去すれば、再度、塗布・組み付け可能です。

注) ライニング鋼管及びコア内蔵品については、バーナーなどで熱しないで下さい。また、可燃性又は引火性流体の配管部分についてもバーナーなどで熱しないで下さい。

6、用途

スプリンクラー配管、屋内外消火栓配管、給排水管、エア配管、ガス配管、冷媒配管、冷温水配管、給湯用熱媒配管、灯油配管、不凍液入り配管。

注) 蒸気、酸素配管及びボイラー周りの配管には使用できません。

特別な用途の場合には、弊社までお問い合わせ下さい。

7、適用管材

白ガス、黒ガス、鉄、銅などの金属配管又はライニング鋼管などの金属ネジ部。

注) 塩ビ管等の樹脂管には使用できません。本製品は建築用金属配管テーパネジ用です。

8、漏れ確認試験

組み付け後24時間以内に漏れ確認試験を行う場合は、0.2MPa以下、保持時間 10 分以内で行って下さい。

それ以上の圧力や保持時間の場合、漏れ確認試験は24時間後に行ってください。

アクチベーターSF 7649 を併用した場合は、ステンレス配管、大口径配管、低温下での施工に於いても、組み付け後、30分間後には漏れ確認試験を行なえます。

なお、漏れ確認試験終了後、直ちに圧力を開放して下さい。

9、シール性及び耐熱性データ(参考値)

水圧	① 短時間硬化シール性	3MPa 以下
	② 完全硬化後	20MPa 以下
窒素圧	① 短時間硬化シール性	1MPa 以下
	② 完全硬化後	2MPa 以下
使用温度範囲 -55℃～150℃		

試験条件

- 20A鋼ブッシュ・ソケット使用、使用グレード:5651
- 締め付けトルク60N・m
- 硬化条件:①23～25℃×5分 ②23～25℃×72時間
- ネジ部完全脱脂
- 加圧条件:各記載加圧媒体で記載圧力まで加圧し、5分間保持し、漏れが無いことを確認した。

10、適合規格（硬化物で浸出試験）

- 常温水に対し厚生省告示第111号「給水装置の構造及び材質基準に係る試験」による浸出試験により厚生省告示第45号「水道施設に使用される資機材等の材質に関する試験」の水質基準に適合
(適合製品:ロックタイト5651、575)
- 加熱水に対し厚生省告示第111号「給水装置の構造及び材質基準に係る試験」による浸出試験により厚生省告示第14号「給水装置の構造及び材質に関する省令」の末端給水用具及び給水管等の水質基準に適合
(適合製品:ロックタイト5651 アクチベーターSF 7649 併用)

11、保存方法

使用後は、確実にキャップを閉め、直射日光を避け、8℃～28℃以下の屋内暗所で保存して下さい。

注) 製品の特性上、時間経過と共に内容成分が分離することがあります。チューブからシーラ剤を出した時に水の様な透明(こはく)液体が出て来た時は、シーラ剤の分離が生じています。このような状態の場合は、チューブの上からよく揉んで、分離が認められなくなっからご使用下さい。

12、注意

開封前及び開封後にチューブに強い外圧をかけますとチューブが破裂し、シーラ剤が飛び出すことがありますので、ご注意下さい。シーラ剤が床などに付着した場合は、ウェスを使用し、拭き取って下さい。また、組み付け作業時などで手についた場合は、石鹼水などで手を洗って下さい。(接着剤は極めて安全で人体には殆ど影響ありませんが、まれに皮膚の敏感な人がかぶれを起こすことがあります)アクチベーター及び配管シーラ剤は可燃性です。

保管・使用時においては、火気から遠ざけて下さい。使用にあたっては、消防法及び有機溶剤中毒予防規則、その他の法規に従って下さい。本手順書に記載されている数値は弊社実験値よりの引用であり、規格値及び保証値ではありません。使用にあたっては、事前に十分な検討を行い、使用される方ご自身で適用の有無をご判断下さい。

なお、施工後に於ける不具合(配管からの漏れや再補修など)に対して、弊社での保証は一切致しません。